

はじめに

「AWS 認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト」(SAA-C01) 試験は、ソリューションアーキテクトロールを遂行する人を対象としており、AWS 上でセキュアかつ堅牢なアプリケーションを設計および展開する方法についての理解度を評価するものです。

この試験で評価する能力は次のとおりです。

- 顧客の要件に基づき、アーキテクチャ設計原則に従ってソリューションを定義する。
- プロジェクトのライフサイクル全体を通じて、ベストプラクティスに基づいた実装を行うためのガイダンスを提供する。

推奨される AWS の知識

- 可用性、費用効率、フォルトトレランス性、および拡張性が高い分散型システムを AWS 上で実際に設計した 1 年以上の実務経験。
- AWS のコンピューティングサービス、ストレージサービス、およびデータベースサービスを使用した実務経験。
- AWS の展開サービスおよび管理サービスに関する実務経験。
- AWS 上で動作するアプリケーションに関する技術要件を明確にして定義する能力。
- 特定の技術要件を満たす AWS サービスを判断する能力。
- AWS プラットフォーム上でセキュアかつ信頼性の高いアプリケーションを開発する際に推奨されるベストプラクティスに関する知識。
- AWS クラウド上で構築するアーキテクチャの基本原則に関する知識。
- AWS グローバルインフラストラクチャーに関する知識。
- AWS に関連するネットワーク技術に関する知識。
- AWS で使用できるセキュリティ機能およびセキュリティツールに関する知識、ならびに AWS のセキュリティ機能およびセキュリティツールと従来型サービスの関連性に関する知識。

試験準備

本試験の準備に役立つトレーニングコースと資料は次のとおりです。

AWS に関するトレーニング (aws.amazon.com/training)

- 「Architecting on AWS」: インストラクター主導による、ライブまたは仮想クラスでの 3 日間の [コース](#)

AWS に関するホワイトペーパー (aws.amazon.com/whitepapers) Kindle 版および PDF 版 およびその他の資料

- 「Architecting for the Cloud: AWS Best Practices」 [ホワイトペーパー](#)、2016 年 2 月発行
- 「AWS Well-Architected」 [Web ページ](#) (さまざまなホワイトペーパーへのリンクあり)

試験内容

回答タイプ

試験の質問には以下の 2 種類があります。

- **択一選択問題:** 選択肢には 1 つの正解と 3 つの不正解（誤答）があります。
- **複数選択問題:** 5 つの選択肢のうち、2 つが正解です。

文章に最もよく当てはまるもの、または質問の回答となるものを 1 つ以上選択します。不正解の選択肢は、知識やスキルが不十分な受験者が間違えやすいもので構成されています。多くの場合、試験の目的に応じた出題分野に当てはまる、もっともらしい回答になっています。

回答しなかった場合は不正解とされるため、推測でも答える方が有利です。

採点対象外の内容

試験には、採点の対象にはならない項目が含まれる場合があります。これは統計的な情報を集めるために試験に組み込まれています。フォーム上でこれらの項目を区別することはできませんが、スコアに影響を与えることもありません。

試験の結果

「AWS 認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト」（SAA-C01）試験の結果は、合格または不合格のいずれかになります。試験は、認定業界のベストプラクティスとガイドラインに従って、AWS プロフェッショナルにより設定された最低基準に達しているかどうかに応じて採点されます。

試験結果は 100~1000 点の範囲のスコアでレポートされます。最低合格スコアは 720 点です。スコアによって、試験での全体的な成績と合否がわかります。スケールドスコアモデルは、難易度にわずかな違いのある複数の試験形式のスコアを平均化するために使用されます。

スコアレポートには各セクションレベルでの成績の等級表が掲載されています。この情報は、試験成績に関する全体的なフィードバックを提供することを目的として設計されています。試験では補填形式のスコアモデルが使用されるため、個別のセクションごとに「合格」する必要はなく、試験全体で合格することのみが求められます。試験の各セクションには特定の重み付けがされているため、一部のセクションでは質問数が他のセクションよりも多くなっています。表には、長所と弱点を示す総合的な情報が含まれています。セクションレベルのフィードバックは慎重に解釈するようにしてください。

試験内容の概要

この試験ガイドには、比重、出題分野、および試験の目的のみが記載されています。試験の出題内容全体を記載しているわけではありません。出題分野と比重を以下の表に示します。

分野	試験における比重
分野 1: 回復性の高いアーキテクチャを設計する	34%
分野 2: パフォーマンスに優れたアーキテクチャを定義する	24%
分野 3: セキュアなアプリケーションおよびアーキテクチャを規定する	26%
分野 4: コスト最適化アーキテクチャを設計する	10%
分野 5: オペレーショナルエクセレンスを備えたアーキテクチャを定義する	6%
合計	100%

分野 1: 回復性の高いアーキテクチャを設計する

- 1.1 信頼性と回復性の高いストレージを選択する。
- 1.2 AWS サービスを使用した分離機構を設計する方法を定義する。
- 1.3 多層アーキテクチャソリューションを設計する方法を定義する。
- 1.4 可用性またはフォルトトレラント性（あるいはその両方）が高いアーキテクチャを設計する方法を定義する。

分野 2: パフォーマンスに優れたアーキテクチャを定義する

- 2.1 パフォーマンスの高いストレージとデータベースを選択する。
- 2.2 キャッシュを使用してパフォーマンスを向上させる。
- 2.3 伸縮性と拡張性を備えたソリューションを設計する。

分野 3: セキュアなアプリケーションおよびアーキテクチャを規定する

- 3.1 アプリケーション層をセキュリティ保護する方法を定義する。
- 3.2 データをセキュリティ保護する方法を定義する。
- 3.3 単一の VPC アプリケーション用のネットワークインフラストラクチャーを定義する。

分野 4: コスト最適化アーキテクチャを設計する

- 4.1 コスト最適化ストレージを設計する方法を定義する。
- 4.2 コスト最適化コンピューティングを設計する方法を定義する。

分野 5: オペレーショナルエクセレンスを備えたアーキテクチャを定義する

- 5.1 オペレーショナルエクセレンスを実現するソリューションの設計特性を選択する。